



平成30年1月30日

各位

上場会社名 株式会社 カワタ  
 代表者 代表取締役社長 白井 英徳  
 (コード番号 6292)  
 問合せ先責任者 取締役管理部門統括 白石 亙  
 (TEL 06-6531-8211)

## 業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成30年1月30日付「繰延税金資産の計上に関するお知らせ」で公表した通り、繰延税金資産および法人税等調整額を計上する見込みとなったことに加えて、最近の業績動向を踏まえ、平成29年10月23日に公表した業績予想および平成29年5月12日に公表した配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成30年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17,800	800	700	420	59.31
今回修正予想(B)	20,000	1,100	1,050	900	127.09
増減額(B-A)	2,200	300	350	480	
増減率(%)	12.4	37.5	50.0	114.3	
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	16,654	518	445	211	29.84

平成30年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,200	230	240	200	28.24
今回修正予想(B)	9,700	270	320	490	69.19
増減額(B-A)	500	40	80	290	
増減率(%)	5.4	17.4	33.3	145.0	
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	8,227	225	376	392	55.40

#### 修正の理由

連結業績につきましては、日本セグメント及び東アジアセグメントにおいて、引き続き自動車関連や電子部品関連の需要が堅調であったこと等により、売上高は前回予想を2,200百万円上回る20,000百万円となる見込みです。損益面におきましては、売上高増加に伴う売上総利益の増加等により、営業利益は前回予想を300百万円上回る1,100百万円、経常利益は前回予想を350百万円上回る1,050百万円となる見込みです。更に、平成30年1月30日付「繰延税金資産の計上に関するお知らせ」で公表した通り、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、回収可能性のある部分について232百万円の繰延税金資産を計上し△232百万円を法人税等調整額に計上する見込みとなったことにより、親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想を480百万円上回る900百万円となる見込みです。

個別業績につきましては、自動車関連や電子部品関連の需要が堅調であったこと等により、売上高は前回予想を500百万円上回る9,700百万円となる見込みです。損益面におきましては、売上高増加に伴う売上総利益の増加等により、営業利益は前回予想を40百万円上回る270百万円、経常利益は前回予想を80百万円上回る320百万円となる見込みです。更に、平成30年1月30日付「繰延税金資産の計上に関するお知らせ」で公表した通り、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、回収可能性のある部分について232百万円の繰延税金資産を計上し△232百万円を法人税等調整額に計上する見込みとなったことにより、当期純利益は前回予想を290百万円上回る490百万円となる見込みです。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成29年5月12日発表)	—	6.00	—	6.00	12.00
今回修正予想	—	—	—	9.00	15.00
当期実績	—	6.00	—		
前期実績 (平成29年3月期)	—	6.00	—	6.00	12.00

修正の理由

当社は、安定的な配当維持と業績向上に伴った株主の皆様への配当(利益還元)を充実させることを経営の重要政策のひとつとして位置付けるとともに、中長期的には安定した事業成長を図り株主価値を持続的に向上させるため、事業の進展状況等を勘案し新規事業開発や戦略投資等に内部留保資金を投下していくことを基本方針としております。

当期は、繰延税金資産の計上という特殊要因を除いた通期業績予想が前回予想を上回ったことに加えて、中長期的な配当性向や自己資本利益率(ROE)の向上と、今後の事業リスクや戦略投資に備えての内部留保の充実等を総合的に勘案し、当期の1株当たり期末配当予想を6円から9円に修正いたします。

(注)上記の予想数値は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであります。  
実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上